

巻頭言

会長 高橋謙一

会員の皆様におかれましては、日頃より感染症対策に努められ、様々な自粛生活をお過ごしのことと思います。全国的には「第4波」との報道もあるように、変異株の感染拡大により、全国各地で感染者数が増加しています。5月末の段階で1道、1都、2府、7県に緊急事態宣言が、8県に蔓延防止等重点措置が発令されています。政府においては緊急事態宣言の期間を6月20日まで延長を決めました。

香川県においても、感染者数の増加により、4月4日(日)から感染拡大防止集中対策期、5月8日(土)には「香川県コロナ非常事態宣言」が発令され、5月9日(日)から31日(月)まで「緊急事態対策期」、6月1日からは「感染拡大防止集中対策期」となりました。

政府は高齢者へのワクチン接種を加速させるべく、東京都と大阪府に大規模接種会場を設けたり、モデルナとアストラゼネカのワクチンを5月21日に正式に承認したり、打ち手増のため歯科医師に続き救命救急士と臨床検査技師を追加したりとワクチン接種を加速するよう様々な取り組みをしています。しかし、ワクチン接種の優先度が高い医療職に位置づけられていますが、会員の大半が摂取するにはまだまだ時間がかかると思われます。

県士会事業の方針に関しては、昨年同様、オンライン開催を基本とし、対面開催の場合は感染症対策を講じたうえで実施します。5月28日の定期総会もオンラインで開催し、令和3年度の事業計画案と予算案について承認いただきました。詳細は定期総会資料を参照いただければと思います。今後は、各部・委員会の事業を、順次行っていくこととなります。会員の皆様へは、ホームページや連絡網で各種情報を提供いたしますので、Wi-Fi環境やタブレットやPC等で環境を整え、それらの情報から取捨選択のうえ、積極的に参加していただければと思います。

研修部のアンケートから「以前であれば交通費や宿泊費で学会や研修会の参加に時間と費用がかかっていたが、今は自宅で参加ができるため、そういった時間と費用がかからない分、自宅に居ながら県内だけでなく他ブロックや全国規模の学会等様々なものに参加しています。」女性会員からは「子育ての育児でなかなか対面研修に参加できなかったけど、オンライン研修になって参加できるようになりありがたい」との声も聞こえてきました。コロナの影響で、従来常識とされてきたことが非常識となり、新たな常識が新しい

生活様式として浸透してきています。どのように時代や様式が変化しても、理学療法士が医療従事者としての法的位置づけと対人サービス業である以上、人間関係をよりよく形成し、対面で仕事をするに変わりはありません。感染症対策は必須です。会員からはワクチン接種の優先順位にある医療職枠で所属施設でのワクチン接種が進んでいるとの情報も入っておりますが、未だ進んでいないとの声も聞こえたり、対面集合研修については職場の方針で参加ができないという会員もいるようです。ワクチン接種が進み、感染者数が少なくなれば、実技の研修等も開催できますが、今しばらくの辛抱と工夫した開催が求められています。

第26回香川県理学療法士学会を終えて

第26回香川県理学療法士学会準備委員長 池本公哉

令和3年2月21日に第26回香川県理学療法士学会が行われました。本学会は香川県理学療法士学会では初のWeb開催となりました。Webでの学会開催にあたり演題募集や、演題の採択が例年に比べ遅れてしまい県士会の方々にも非常にご迷惑をおかけいたしました。この場を借りてお詫び申し上げます。

昨年より新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっており当初予定していたリモート集合型での学会開催自体もギリギリまで不透明な中、無事予定通りで開催することができ、また参加者も247名と多くの方に参加していただきました。

準備の部分ではWeb配信に向けての準備、事前登録方法や発表の方法、抄録の配布方法等かなり右往左往いたしました。対面でミーティングができていれば短時間で終わることもメールとなるとタイムラグができてしまい難しさを感じました。

抄録作成も非常に大変で、学術局の先生には校正でかなりご負担をおかけしたと思います。

発表方法では録音配信に決まったのが学会直前となり発表者の先生には急遽作成していただきました。準備が後手に回った事で音声の聞き取りにくさの修正ができなかったのは反省です。

学会当日は業者へ依頼したことで、準備委員も最小限の人数であっても運営はスムーズに行えたと思います。

今回、新型コロナウイルスによる感染が拡大する中でも香川県士会で初のWeb学会の開催を行い、今後の学会開催の指針やた

たき台作成に携わることができ私自身、非常に良い経験となりました。本学会で課題に上がったチャットによる質疑応答時間やオンデマンドでの見返し学会の当日参加の有無等、頂いたご意見を久保学会部長中心に今後の学会運営に反映していただけたと思います。

最後になりましたが本学会を準備・開催するにあたり支えていただいた中内大会長、久保学会部長、第26回香川県理学療法士学会準備委員の皆様にご心よりお礼申し上げます。



当日の現場の様子

第26回香川県理学療法士学会運営後記

学会部部长 久保輝明

この度、無事にハイブリッド形式にて第26回香川県理学療法士学会を終える事ができました。中内学会長、池本準備委員長ならびに高松圏域準備委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご尽力賜り誠にありがとうございました。学会準備に際し、開催形式の検討から初めてのハイブリッド形式でのWEB開催となり、他学会からの情報もまだ少ない状況で準備委員の皆様には多大なご負担をおかけしたかと思えます。

しかしながら、苦勞しながらも良いたき台ができたと思われまますので、本学会の経験を生かして今後の運営に取り組んで行ければと考えております。

参加された皆様におかれましても誠に感謝申し上げます。本学会を完全リモート形式ではなくハイブリッド形式で行った経緯としては、システム的な問題等もありますが完全リモート形式よりも演題発表をする演者においては、少しでも「学会発表をした」という実感が得られるのではないかという考えも含まれております。

現在の学会部が考える香川県学会の役割としては、県内の若いPTや発表経験の少ないPTが四国学会や全国学会に進む前段階の練習の場として、又、発表経験の場としての役割を重きに

開催内容などを検討しております。本学会でも比較的若い演者の方々から多くの演題発表いただき、盛況に終えることが出来ました。演者の方々におかれましては、県内の理学療法学発展のため、今後も研究・発表等を続けていただければ幸いです。

さて、次回の第27回香川県理学療法士学会におきましては中讃圏域ブロックと学会部が適宜準備しております。また、県内でも新型コロナウイルス感染症が落ち着いていない状況ではありますが、集合開催とWEB開催の両面にて検討し、なんとか開催できればと考えております。また、WEB開催となれば本学会で出てきた課題を修正し、更に実りある学会となるよう努めたいと思っておりますので、皆様のお力添えの程宜しくお願い致します。

理学療法の日

啓発部部长 近藤晴美

「7月17日は何の日?」ご存知ですか?かつて第1回目の国家試験に合格された110名の理学療法士が日本理学療法士協会を結成しました。その日に因んで『理学療法の日』が決められました。ケガや病気・介護の時はもちろん、介護予防や療育・スポーツの現場など、様々な場面で活躍されている理学療法士の存在を、一般の皆様へお伝えし健康に貢献したい・・・そんな目的で、全国で様々な一斉イベントが行われてきました。

県下でも、このような状況下です所以对面でのイベントは控えておりますが、かわりにホームページを利用した啓発活動やオンラインでの情報発信を行っております。7月17日前後の期間では、日本理学療法士協会が掲げる介護予防の観点から、自宅でできる健康維持体操の動画等を中心に動画配信を企画しております。会員の皆様の職場や、県内のコミュニティセンター・介護保険事業所へも、『理学療法の日』の啓発とともに動画配信のご案内をさせていただく予定です。

また年間を通しては、県民の様々な世代の方たちへむけて「高校生への理学療法説明会」や「スポーツレクリエーション祭」で、理学療法士の仕事や県士会活動をご紹介させていただいております。今でもできること・今だからできることを模索しながら、会員の皆様の活動を、効果的にアピールできるよう励んでまいります。

なお、皆様からのご意見やアイデアもぜひ反映させていきたいと考えております。ご連絡を心よりお待ちしております。今後とも、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

入会のすすめ

～若いパワーは必要不可欠～

事務局長 清川敏郎

社会のニーズに合致した理学療法士を育成するためには、卒業教育のみでは不十分であり、卒業後教育の充実が不可欠であり、生涯学習として自己研鑽を積むことが、理学療法士の水準を維持・向上するためにも大切である。－「理学療法学概論第4版(神陵文庫)」より抜粋

日本理学療法士協会は理学療法士が集う唯一の学術および職能団体です。職能団体としての協会・都道府県理学療法士会が国・県との窓口になり、学術団体としての科学的根拠に基づく専門性や社会的価値のある自己研鑽により、医療保険や介護保険、その他の分野での私たちの活動が保障されます。

協会へ入会すると「理学療法士としての方向性」を与えてくれます。多くの理学療法士は、自分自身の行っている理学療法について、常に「これでいいのだろうか?」といった疑問を持って仕事をしています。そのようなとき、全国の分科学会・都道府県・ブロック主催の研修会や学会に参加・発表して下さい。きっとすばらしい発見があります。

理学療法士は常に医療や社会の状況に応じて知識や技能が求められ、生涯、理学療法士としての資質を問われます。しかしながら、その知識や技能には偏りが出るものです。それをある程度統一していくために「方向性を知る」ということは有意義なことだと思います。

理学療法・理学療法士の今後を考えると若いパワーは必要不可欠です。感染防止対策により昨年と今年は入会説明会を開催できていませんが、昨年度は例年とほぼ同数の69名の新人に入会いただきました。今年度の入会申請は5月31日現在で39名です。貴施設に入職された新人理学療法士の方々へ協会への入会メリットをお伝えいただき、ぜひ入会を勧めていただきたいと思います。



事務局長 清川敏郎

「新人歓迎会について」

厚生部部长 柳原弘規

厚生部では、毎年4月下旬頃に新人説明会後に香川県士会に入会された新人同士の親睦を目的に新人歓迎会を開催しています。いつも新人説明会に参加された方の約8から9割の方が参加してくれています。新人の方の参加に加え、会長をはじめとする理事役員の方々にも参加していただいています。会場内では、懐かしい顔ぶれや初対面の方々と食事を囲んで歓談しながらも、会長から理学療法士の現状や今後の展望等を鼓舞激励していただき、この分野で自分をいかに活かしていくかということの重要性を確認し合う場となっています。

しかし、昨年からのコロナの影響により新人説明会や歓迎会は開催できていない状況となっています。そのため、新人同士や県士会との繋がりも取りにくい状況になっていると思います。厚生部では、昨年度新入会者に対して、歓迎会に代わるものとして、香川県理学療法士会からWebを利用した懇親会の開催と入会記念品を贈呈させていただこうと企画・検討しています。Webを利用した懇親会では、香川県理学療法士会会長、副会長の挨拶や新入会員の顔合わせを兼ねた自己紹介を行い縦と横の繋がりを作れたらと考えています。

最後になりましたが、今後もコロナの影響により対面的な行事は、難しい状況が続いていくと思われます。しかし、今後対面での勉強会などで、今回企画させてもらうWebを利用した懇親会で、「あ、あの人見たことある」といった何かのきっかけになればと思っています。ぜひ、その時は、参加をよろしく願います。引き続き、香川県士会会員の福利厚生の一環として県士会に入会していることへの利点に繋がるようなもので何か還元できればと検討していきます。

理事会報告

第9回理事会

日時:令和3年1月21日(木)19:00~20:25

場所:WEB(ZOOM)

出席者:理事)高橋、藤井、山田、清川、田岡、十川、梶原、永岡、中島、矢野、森田、宮崎、今井
監事)川本、澤近

審議事項

1. 各種事業の開催指針のステージに関して(山田)
ステージ2で保留。
2. 公益目的支出計画の実施状況について(高橋)
公益目的支出計画の見直しが必要。今後は香川県作業療法士会の会計担当者へ依頼する→承認
3. COVID-19に対する士会としての対応案について(高橋)
災害対策委員会で案件発生時の対応案を検討→継続審議

4. ZOOMの利用状況と今後の運用について(総務部)
ライセンス数(10ライセンス)は現状維持し予約表をクラウド管理して利用していく。→承認
5. 坂出宇多津介護認定審査会委員の推薦について(高橋)
清川先生を推薦。→承認
6. 2021年度の県学会等日程について(高橋)
1～3月開催の学会にポイント付与が認められた為、第27回県学会開催を5月から3月開催に変更で承認
7. その他
- 1) 新人入会(清川)
1名の入会について。→承認
- 2) 賛助会員入会申請(清川)
株式会社gene入会希望。→承認
- 3) 臨床実習指導者講習会
1月開催は中止。2月は状況より判断→承認

報告事項

1. 各部・委員会・ブロック報告(各担当者)
- 1) 臨床実習指導者講習会(1月16・17日)
県内の感染状況を考慮し中止した。
- 2) 事務局総務部 事業報告(清川)
①ZOOMライセンス状況、会員動向ほか資料参照
- 3) 学会部報告(宮崎)
第26回県学会をハイブリッドにて開催する。来年度開催予定の理学療法士講習会2本も受理された。WEBにて開催予定。知識シリーズZOOMにて行っている。
- 4) 啓発部報告(十川)
2月7日高校生対象の理学療法説明会を予定。18名の申し込みあり。ZOOMかYouTubeで配信検討中。
2. COVID-19に関する人権の配慮について(高橋)
連絡網によるメール配信済み
3. 四国会計システム訪問報告(高橋)
出張報告書参照
4. 香川県介護予防市町支援委員会(高橋)
別紙参照
5. 香川県長寿対策課との打ち合わせ(高橋)
別紙参照

連絡事項

1. 医療機関等におけるクラスター対策について(注意喚起)
2. 学習履歴の新生涯学習制度・新会員管理システムへの移行スケジュール変更について(ご案内)
研修等終了後は2週間以内に名簿提出が必要。別紙参照
3. 医療チームによるコロナ禍の病棟業務支援
会長メッセージと全国取組紹介
4. 新生涯学習制度開始に向けた都道府県理学療法士会生涯学習担当者意見交換会について(WEB開催)

別紙参照。

5. 事務局長会議

2月6日に開催予定(ZOOM)。清川事務局長出席。2月7日事務局職員研修会は中止。

6. 県から補助金を頂いている県士会事業について(藤井)

補助金については来年度の計画立案時に報告。

臨時理事会

日時:令和3年2月9日(木)19:00～19:50

場所:WEB(ZOOM)

出席者:理事)高橋、藤井、山田、清川、田岡、十川、梶原、横川、永岡、矢野、森田、宮崎、今井

監事)川本、澤近

審議事項

1. 公益目的支出計画の変更申請について(高橋)

令和3年3月31日で支出が完了しない見通しであること、大江税理士事務所との相談で計画を立案したこと、事前に県へ計画案について提出のうえ意見を求めたうえで、理事会資料を作成していると報告があり。公益目的支出計画変更案→承認

2. 臨時総会の開催について(高橋)

公益目的支出計画変更申請のための臨時総会を2月25日(木)に開催を決定。会員へは連絡網・HP周知、資料等をHPからダウンロード可能とすること、案内状と資料を郵送する2方式で対応。

3. 大江富夫税理士事務所との契約について(高橋)

年間契約料と今年度分の変更認可申請についての手数料について口頭で仮契約したことが報告され、契約は承認された。

報告事項

1. 公益目的支出計画実施報告書の提出状況について

2月5日に公益目的支出計画実施報告書(令和元年度分)の書類提出が完了した。

2. 公益目的支出計画実施報告書の進捗状況(高橋・藤井)

1月25日に医務国保課にて、公益目的支出計画実施報告書の進捗状況と今後の手続きならびに書類について確認を行った。

3. 大江税理士事務所との交渉報告について(高橋・藤井)

1月25日に大江税理士事務所にて今後の決算ならびに法人書類提出(公益目的支出計画変更申請、今後の公益目的支出計画実施報告書)の協力を依頼し快諾を得た。

第10回理事会

日時:令和3年2月18日(木)19:00～20:40

場所:WEB会議(ZOOM)

出席者:理事)高橋、藤井、山田、清川、田岡、十川、梶原、永岡、中島、矢野、森田、宮崎、今井

監事)川本、澤近

審議事項

1. 各種事業の開催指針のステージに関して(山田)
県内、各施設の現状は今までと変わりなし。ステージ2案→承認
2. 士会活動等の実施における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン第3版(案)について(山田)
別紙資料参照。
3. 災害対策マニュアル改定案について(山田)
別紙資料参照。→継続審議。最終版は士会HPに掲載する
3. 香川県理学療法士連盟への業務委託の継続について(高橋)
今年度の業務内容については、総会にて報告済。
4. 香川県糖尿病対策推進会議役員推薦および役員会の開催について(高橋)
役員に森田理事を推薦、役員会は3月11日予定
5. 高次脳機能障害普及支援事業について(高橋)
名義後援依頼あり→承認
6. 名誉会員の推薦について(梶原)
今回は推薦なし
7. 次年度の委員長の変更について(山田)
災害対策委員長を橋本豊丈氏(回生病院)に変更→承認
8. その他
 - 1)啓発部部長の変更について(十川)
近藤晴美氏(リハセンター)に変更→承認
 - 2)協会から共有認識事項(士会に知っていただきたい案件)の動画確認依頼(清川)
各理事が確認し士会からの意見・質問を2月末までに集約。
 - 3)未納退会者が再入会する際、士会費を受領するかどうか。
士会としては受領しないということで協会へ報告する。
 - 4)事務局総務部報告(清川)
別紙資料参考
 - 5)行動費について(宮崎)
昨年度の行動費を手渡しが無理な場合は振込も可能とする。手数料は士会で負担。

報告事項

1. 役員行動録、各部・委員会・ブロック報告(各担当者)
 - 1)事務局・総務部(清川)
退会8名あり。現在会員数1164名。
 - 2)常務執行理事(会長、副会長)行動録を確認。
 - 3)訪問リハ(今井)
1月28日、2月17日実務者研修会ZOOMにて実施。問題なし。
 - 4)第26回県学会(宮崎)
260名程度の事前登録あり。優秀賞、新人賞について、今学会より実施。
 - 5)健康増進推進部(田岡)
2月7日研修会をZOOMにて実施。健康教室DVD100部を教室協力していただいた各施設、病院等に配布予定。

6)啓発部(十川)

高校生への案内にYoutubeを活用。フレイル案内の資料を3月中に配布予定。

7)保険部(中島)

綾川町介護予防検討会(委託事業)に参加。次年度も継続予定。

8)県委託事業来年度事業継続について(藤井)

3月に県と打ち合わせ予定。

9)地域医療介護総合確保基金に係る計画作成検討会報告(横倉)

PTによる介護支援専門員研修事業、PT/OT/ST地域包括ケアシステム人材育成事業の2点は継続となる。次年度から委員が高橋会長に。

2. 令和3年度連盟総会について(永岡)

1月27日開催。事業報告、実績報告あり。副会長3名体制にすることにしていたが、総会で審議できていなかった。

3. 臨床実習指導者講習会2/13・14(高橋)

事前に10名程度のキャンセルあり。感染症対策を行い問題なく実施できた。また、実施後も現在まで問題なかった。

4. 協会指定管理者研修(初級)の対応不備について(梶原)

ZOOMで実施。協会システムを利用。県外会員より申し込みがあった(44名)が、協会から情報がなく、手続きが出来ず。

5. 令和2年度全国生涯学習部 中四国ブロック会議

新学習システムについて意見交換。

6. 都道府県理学療法士会事務局長会議(清川)

出張報告書ならびに資料を参照。新システムの説明会3月予定。

協会費の減額を検討していたが、協会は減額はなし。士会費についても減額なしの県がほとんど。

7. その他

第2回全国都道府県士会学校保健・特別支援教育担当者会議
西日本地区会議参加報告(十川)

別紙報告書参照。

連絡事項

1. 令和2年度卒業証書授与式への祝辞送付(清川)

四国医療専門学校:令和3年3月12日(金)

穴吹リハカレッジ:令和3年3月2日(火)

2. 臨時総会

日時:2月25日(木)19:30~、WEB(ZOOM)を予定

3. 第2回理事部長会

日時:3月18日(木)19:00~、WEB(ZOOM)を予定

4. 令和2年度第11回理事会開催予定

日時:3月25日(木)19:00~、WEB(ZOOM)を予定

5. 遠隔医療従事者研修の案内。HPIにて周知予定

6. 連盟臨時総会

日時: 2月25日(木)

第11回理事会

日時: 令和3年3月25日(木) 19:00~20:40

場所: WEB会議(ZOOM)

出席者: 理事)高橋、藤井、山田、清川、田岡、梶原、横川、永岡、

中島、森田、矢野、宮崎、今井

監事)川本

審議事項

1. 各種事業の開催指針のステージに関して(山田)
ステージ2を推奨→承認
2. 士会活動等の実施における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン第3版(案)について(山田)
別紙参照→承認
3. 災害対策マニュアルについて(山田)
別紙参照→承認
4. 理事会方針案と計画案について(高橋)
令和3年度理事会方針及び事業計画案について説明→承認
5. 高松市高齢者保健福祉・介護保険制度運営協議会臨時委員の変更について(高橋)
横倉前会長から高橋会長に変更→承認
6. 地域医療介護総合確保基金検討委員の推薦について(高橋)
横倉前会長から高橋会長に変更→承認
7. 四国理学療法士学会査読委員について(清川)
令和3年度の四国理学療法士学会査読委員の変更について→承認
8. 賛助会員の承認について(清川)
令和3年度より、株式会社geneが賛助会員として申請あり。→承認
9. 香川県循環器病対策推進協議会委員の委嘱について(高橋)
高橋会長が協議会の委員就任。併せて、協議会で循環器部会と脳卒中部会を立ち上げるにあたり、循環器部会には宮崎理事が推薦された。脳卒中部会については後日推薦する。→全て承認
10. 臨時総会・第2回理事部長会での意見について
 - 1) 県士会の保有物品について(臨時総会 田仲)
事務局の多量の資料については、レンタル倉庫の利用を進めることで承認。プロジェクターとプリンターについては処分の方角で。
 - 2) 理学療法マップについて(理事部長会 津川)
現在HP掲載のPTマップは、清川事務局長が作成したものであり、保険部が作成したものは細かな情報があることや回答施設が不十分であることから、HPへの掲載は控えている。一旦、現状で完成とし、今後の必要性に合わせて検討し、改訂していく→承認
 - 3) 会員の通信費について(理事部長会 田仲)
現状の行動費の規定に基づいて継続し、新たに通信費は設定し

ない。→承認。

4) 新人歓迎会の代案(厚生部 柳原)

新人歓迎会の開催が困難なことから記念品として士会ロゴ入りボールペンを贈呈する→承認。詳細は厚生部に一任する。

11. 令和3年度事業計画案と予算案について

1) 各部委員会の事業計画について

県士会事業のリモート推進に向けてWI-FIルーターやウェビナーなどの法人契約を検討する。HPを業者委託することに対して要検討。研修部はハイブリッド開催に向けて業者委託を活用し、予算が増加している。啓発部及び健康増進推進部では、DVD作成やYouTube配信での啓蒙を勧める。→承認

2) 各部、委員会の予算について協議

3士会で運営する委員会の予算、支出見込みなどを検討し、三次予算案として承認された。

12. 東かがわ市在宅医療介護連携会議委員の推薦について

継続して藤井副会長を推薦→承認

13. 大江税理士事務所との契約について

承認

14. その他

1) スポーツ支援部から定期総会前事業申請書について

春季四国地区高校野球大会メディカルサポート→承認

2) 著作権や肖像権の侵害に当たる行為について

県士会として、会員向けに注意喚起をすることと、会員向けに勉強会を開催することを検討→承認

報告事項

1. 役員行動録、各部・委員会・ブロック報告(各担当者)

1) 役員行動録(会長、副会長)、

2) 事務局総務部報告(清川)

6名退会。現在会員1143名。役員行動費振込完了。香川県理学療法士連盟業務処理委託料を支払い。

3) 災害対策委員会(山田)

4) 表彰委員会(梶原): 推薦の該当者なし

5) 香川県地域包括ケアシステム推進委員会(藤井)

香川県地域包括ケアシステム学会からHPが開設され、会員の勧誘依頼があり。令和3年度、香川県地域包括ケアシステム学会から依頼を受け事業案として介護予防事業の展開を支援。

2. 令和2年度臨時総会について(高橋)

公益目的支出計画案、ならびに変更申請について承認

3. 令和3年度連盟臨時総会について(永岡)

定款変更(副会長を3名)となり、高橋会長が連盟副会長に就任。

4. 公益目的支出計画変更認可申請書類の提出について(高橋)

3月29日(月)香川県の審査会において審議される予定。

5. 2021年度組織運営協議会等諸会議(高橋)

高橋、山田が出席予定。

6. 香川県糖尿病対策推進会議役員会(森田)

令和2年度はコロナ禍にて企画されていた講演等は中止。令和3年度も講演会は未定

7. 新演題管理システムWEB説明会(矢野・宮崎)

現行システムより使いやすくなり県学会や四国学会の演題管理に十分使える印象。

8. 地域医療介護総合確保基金検討会の意見書について(高橋)

「感染症医療従事者」の中に理学療法士が入らないのは残念

9. 香川県難病対策連絡協議会ニュースレター(高橋)

別紙参照

10. 四国ブロック女性理学療法士の会情報交換会(田岡)

令和2年度は四国4県ともにコロナ禍において十分な事業はできていない。令和3年度はWEB研修などの活用を検討中とのこと

11. 緊急事態宣言解除に伴う協会の業務体制について(高橋)

3月23日より電話対応を再開

12. 令和2年度第4回高松市介護保険制度運営協議会(協議体)

別紙参照

連絡事項

1. 健やか香川21県民会議の総会について(高橋)

3月26日(金)ルポール讃岐⇒高橋会長が出席予定

2. 香川県介護予防市町支援助委員会の委員就任依頼(高橋)

高橋会長が委員就任

3. 令和2年度監査予定(清川)

日時: 令和3年4月8日(木) 19:00~

場所: ユーブラザうたづ

出席者: 高橋会長、清川事務局長、川本監事、澤近監事、横川理事、畠山財務部長

厚生部からのお知らせ

厚生部部長 柳原弘規

慶弔費の申請手続きは厚生部が行います。以下の事項が発生した場合は、90日以内にご連絡ください。その際、送金は銀行振込になりますので、口座番号を柳原までお知らせください。

- 1) 会員が結婚した場合
- 2) 会員が死亡した場合
- 3) 会員が一ヵ月以上入院した場合

おさか脳神経外科病院 柳原まで

TEL 087-886-3300

広報部よりお知らせ

部長 田仲勝一

広報部では令和3年8月号より県士会ニュースを刷新する予定にしております。また、現在は県士会メーリングリストでの配信および発送を行っておりますが、時代の流れに沿い、紙ベースからデジタルベースへ移行したいと考えております。

香川県理学療法士会広報誌として香川電子書籍、「kagawa ebooks」への掲載と、同時に紙ベースの発送をすべて中止させて「頂きます。また皆様に興味を持って読んでいただけるようなシリーズ物も検討していきたいと思っております。

今後とも香川県理学療法士会広報誌をよろしく願い申し上げます。

生涯学習部からのお知らせ

県士会 HP「生涯学習部」に2点資料を掲載しました。

- ① 新プロ履修から修了手続きについて
- ② ②2022年4月開始の新生涯学習制度を理解しよう。是非、ご一読をお願い申し上げます。

編集後記

いろいろと不手際が重なり発刊が遅くなりましたこととお詫び申し上げます。

香川県理学療法士白書によると広報部は昭和63年6月に県士会ニュース1号を発刊しております。どんな活動も始めることには多くのエネルギーを必要としますので33年前の先人の先生方のご苦労が目につかびます。

お知らせでも案内しておりますが、次回8月から香川県士会ニュースは電子書籍のkagawa ebooksへの掲載を期に香川県理学療法士会広報誌として生まれ変わります。新たな一歩として気を引き締めて企画編集に取り組んでまいります。

会員の皆様のご理解をよろしく願い申し上げます。

(田仲勝一)